

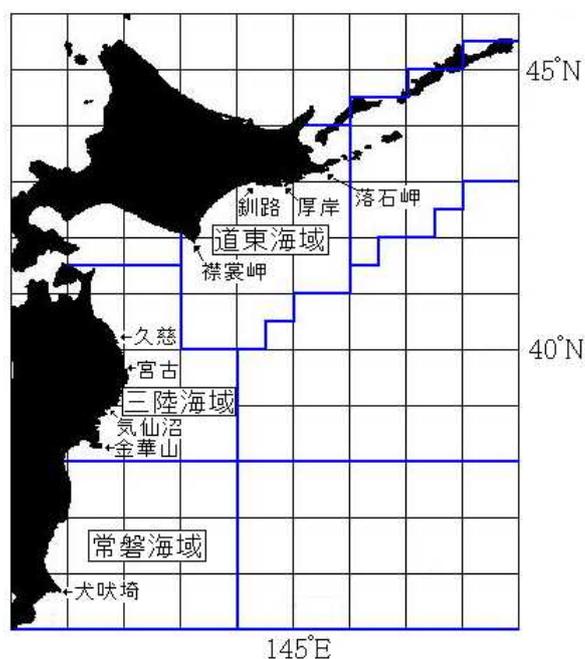
## 2022年度 第3回サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

### 今後の見通し(2022年10月上旬～11月中旬)のポイント

#### 来遊量

- ・道東海域では、10月上旬に来遊があるものの、来遊量は少ない。
- ・三陸海域では、10月下旬になると来遊があるが、来遊量は少ない。
- ・常磐海域では、11月上旬になると来遊があるが、来遊量は少ない。



海域の名称

### 問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 水産情報部  
担当：渡邊、緑川  
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881  
当資料のホームページ掲載先URL  
<http://www.jafic.or.jp/information/category/news/>

# 2022年度 第3回サンマ中短期漁況予報

## 1. 今後の見通し

予測期間：2022年10月上旬から11月中旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

### 1) 道東海域

#### (1) 来遊量

9月中旬は、道東海域よりもかなり沖合の公海にしか漁場は形成されず、道東海域には漁場となるような魚群は分布していなかった。道東海域よりも東沖の公海における10月上旬の来遊量は、9月中旬より増加するものの低水準であり、前年同様少ない。道東海域では、10月上旬～11月上旬に、沖合から魚群が来遊するが、来遊量は前年並みで少なく、来遊は断続的である。多くの魚群は、道東海域よりも東～南側を南下し、道東近海に来遊する群は極めて少ない。

#### (2) 漁場

10月上旬の主漁場は、道東海域より東側の公海となる。道東海域では、10月上旬～11月上旬に、落石沖の沿岸から離れた沖合に散発的に漁場が形成される。

### 2) 三陸海域

#### (1) 来遊量

10月上旬～中旬は、来遊は無い。10月下旬～11月上旬に断続的な来遊があるが、来遊量は前年同様少ない。11月中旬は、低位水準で増加する。

#### (2) 漁場

10月下旬～11月上旬は、三陸海域に漁場が形成される可能性があるが、漁場は三陸沿岸から離れた沖合となる。11月中旬は、三陸南部に漁場が形成される。

### 3) 常磐海域

#### (1) 来遊量

10月上旬～下旬は、来遊は無い。11月上旬～中旬は断続的な来遊があるが、来遊量は少ない。

#### (2) 漁場

10月上旬～下旬は、漁場は形成されない。11月上旬～中旬は、常磐北部に漁場が形成される。

## 2. 予測の概要

海 域		10月上旬	10月中旬	10月下旬	11月上旬	11月中旬
道東海域	来遊量	— →	— →	— →	— →	
	動向	断続的	断続的	断続的	断続的	
	漁 場	落石沖	落石沖	落石沖	落石沖	
三陸海域	来遊量			— →	— →	————→
	動向			断続的	断続的	低位増加
	漁 場			三陸沖合	三陸沖合	三陸南部
常磐海域	来遊量				— →	— →
	動向				断続的	断続的
	漁 場				常磐北部	常磐北部

### 3. 漁況の経過概要（9月中旬）

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

今年は、前年同様、道東海域に漁場は形成されず、道東海域における来遊量は極めて少ない。

主漁場は、9月上旬同様、道東海域より東側の公海であった。1日1隻あたり最高で39トン程度漁獲した船はあったが、多くの船の漁獲量は少なかった。CPUE（1網あたりの漁獲量）は9月上旬よりやや増加し、前年よりも多くなったが、水準としては少なかった。これらのことから、魚群は道東海域よりもさらに沖合に分布しており、分布量は前年よりも多くなったものの少なかった。

##### (2) 漁場

道東海域に漁場は形成されなかった。主漁場は、道東海域東側の公海、落石東北東沖の460～600海里であった。9月上旬に漁場となっていた落石東390～420海里付近では漁場は形成されなかった。引き続き漁場は遠く、小型船の多くは出漁できなかった。

落石東北東沖の460～540海里の漁場水温17～20℃では、大型船数隻～30隻程度操業し、最高39トン、平均6.0トン漁獲した。

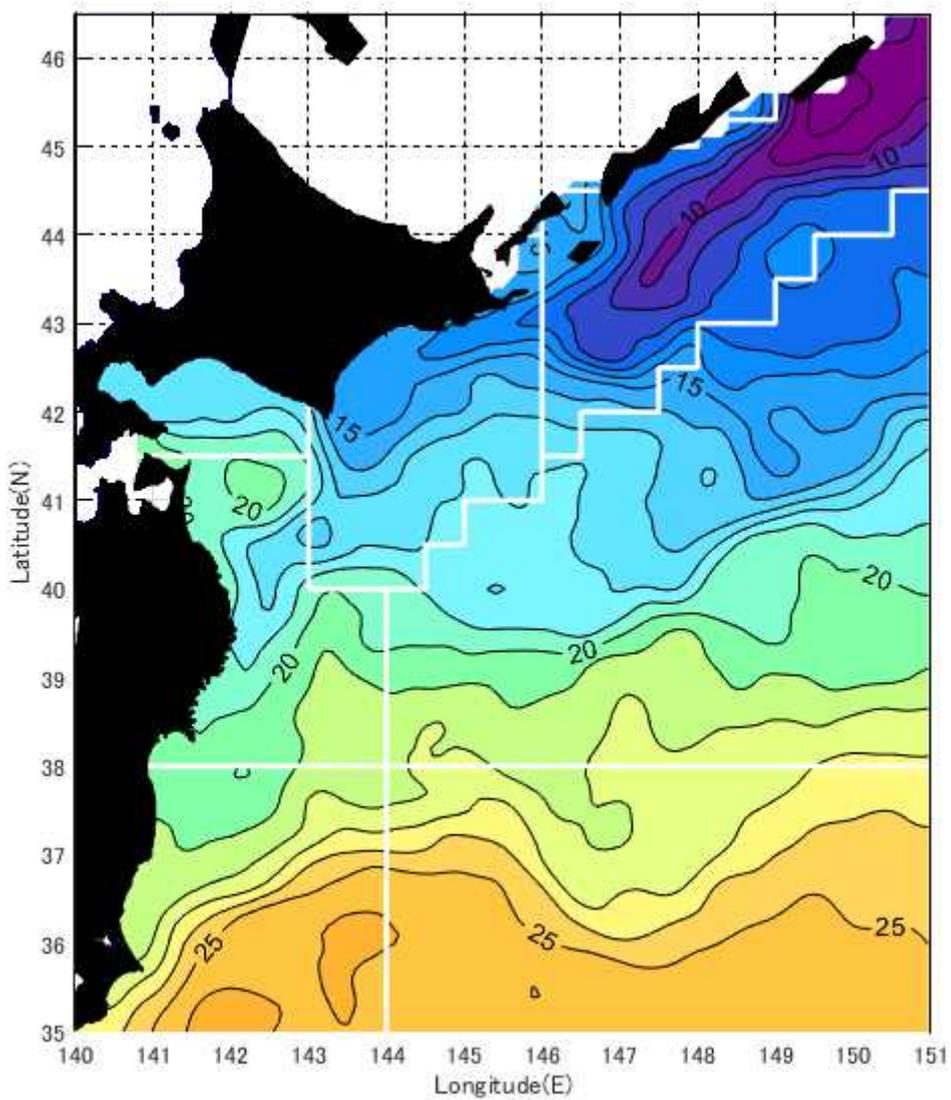
落石東北東沖の580～600海里の漁場水温18～20℃では、17日夜に大型船10隻程度し、最高4.0トン、平均2.0トン漁獲した。

##### (3) 魚体

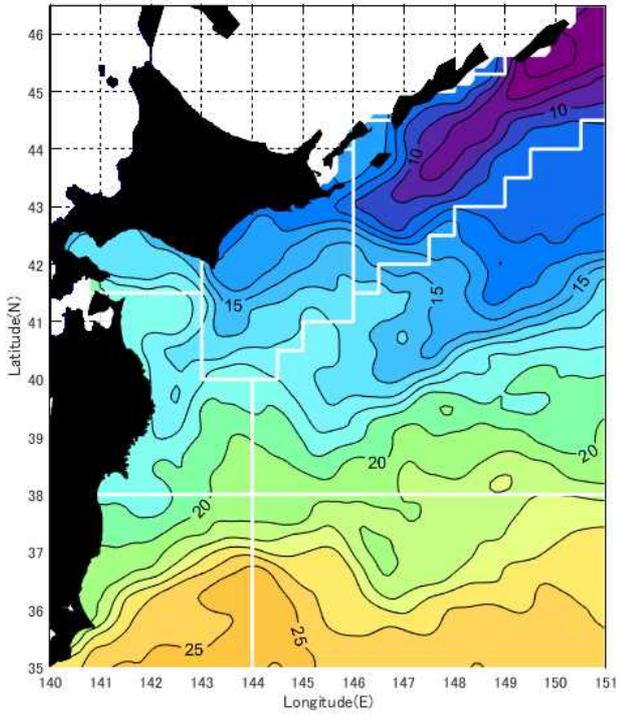
道東海域よりも東側の、落石東北東沖の460～600海里では、体長27～29cmモードであった。体重は80～110g台が主体であった。9月上旬よりも太った個体が出現したが、前年よりも魚体は小さかった。

#### 4. 予測水温分布図

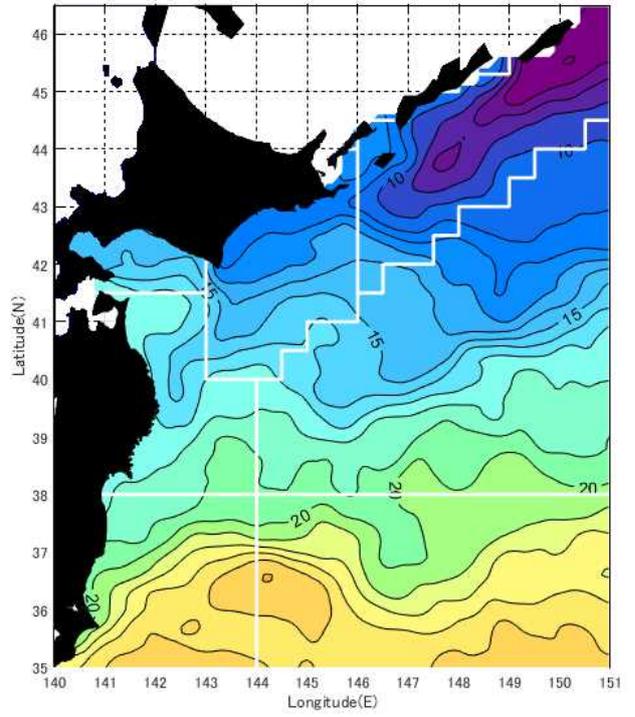
10月上旬予測表面水温分布図



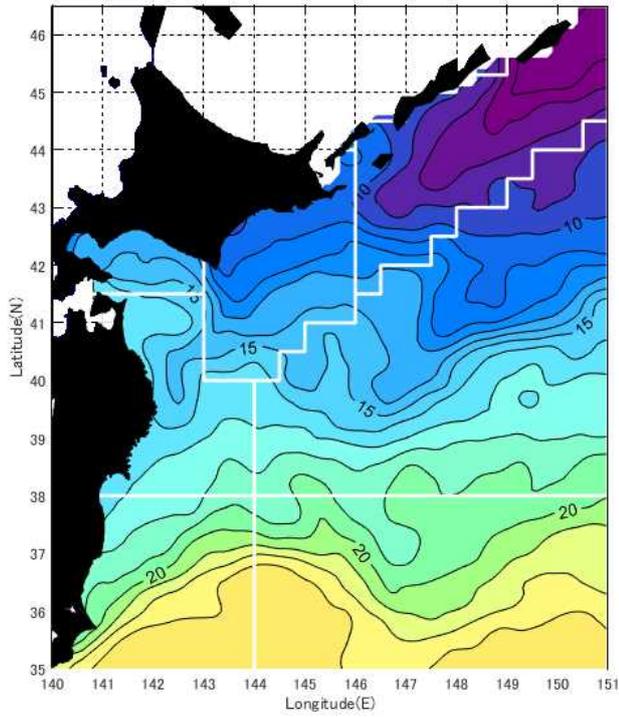
10月中旬予測表面水温分布図



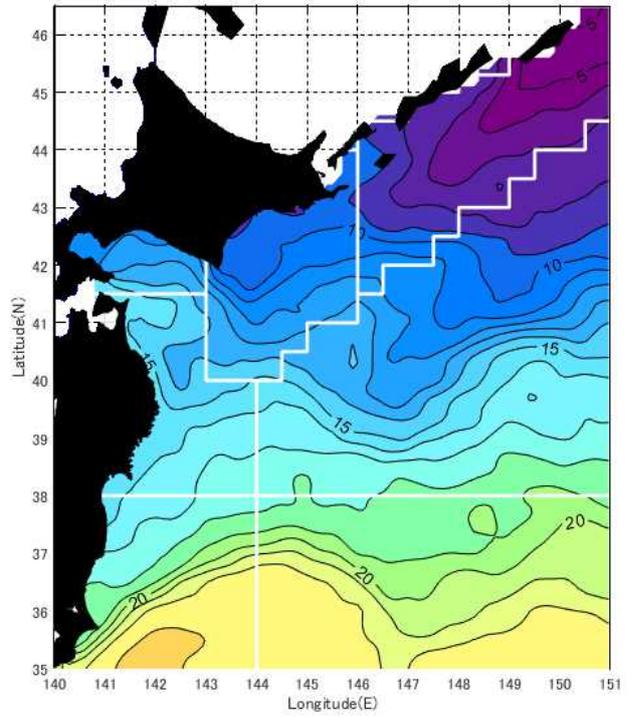
10月下旬予測表面水温分布図



11月上旬予測表面水温分布図



11月中旬予測表面水温分布図



## 参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所</p> <p>(取りまとめ機関) 一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
--	---